

平成21年度
容器包装廃棄物排出抑制及び
リターナブル容器利用等調査
報告書

平成22年3月
財団法人 食品産業センター

はじめに

本報告書は、容器包装廃棄物排出抑制及びリターナブル容器利用促進等のため、容器包装を利用している飲食料品製造・販売事業者等を対象として、排出抑制及びリターナブル容器の利用の取組みに関する調査を実施し、その成果をとりまとめたものです。

第1章では、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(平成7年法律第112号。以下「容器包装リサイクル法」という。)で示されている目的と事業者の責務について簡単にまとめています。

第2章では、飲食料品製造・販売事業者等の容器包装廃棄物排出抑制及びリターナブル容器利用実態を調査し、現状をとりまとめています。

第3章では、飲食料品製造・販売事業者等のリデュースを中心とする飲食料品容器包装3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組み事例を調査し、その成果を事例集としてとりまとめています。

第4章では、リターナブル用自動販売機にて販売されるコカ・コーラ、昨今利用が拡大しているウォーターサーバーによる宅配水、過去にも取り上げたリターナブル容器の事例でその利用が安定しているコーヒーショップを成功モデルとして、商品のシステム全般に亘る調査を行い、その成功要因など分析・整理した結果をとりまとめています。さらに、過去の調査事例等も参考にして、リターナブル容器の利用拡大の可能性についてもとりまとめています。

この報告書が、飲食料品製造・販売事業者等における飲食料品の容器包装廃棄物の排出抑制およびリターナブル容器の利用促進の一助になれば幸いです。

<目次>

1	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	
1.1	目的(第一条関連)	1-1
1.2	事業者の責務(第四条関連)	1-2
2	飲食料品製造・販売事業者等の食品容器包装の3R(リデュース, リユース, リサイクル)取組みの実態	
2.1	実態アンケート調査.....	2-1
2.1.1	調査概要	2-1
2.1.2	調査内容	2-1
2.1.3	アンケート調査結果	2-1
2.2	調査結果のまとめ	2-5
3	飲食料品製造・販売事業者等のリデュースを中心とする食品容器包装3R(リデュース, リユース, リサイクル)の取組み事例と今後の展望	
3.1	事例収集の考え方	3-1
3.2	飲食料品製造・販売事業者等全般の事例	3-2
3.2.1	傾向	3-2
3.2.2	事例詳細	3-4
3.3	お土産製造・販売事業者の傾向	3-129
3.4	今後の展望と課題	3-129
4	リターナブル容器利用の取組み事例と今後の展望	
4.1	リターナブルびん専用自動販売機	4-1
4.2	ウォーターサーバー設置型リターナブル容器	4-3
4.3	コーヒーショップのリユース容器	4-6
4.4	リターナブル容器の利用拡大の可能性	4-9
	参考資料 アンケート調査票	参-1